

2018 年 11 月 15 日

各 位

一般社団法人 セメント協会
普及部門 担当 中村、芦沢
TEL 03-5200-5060 FAX 03-5200-5062
E-mail : fukyu@jcassoc.or.jp

「第 308 回コンクリートセミナー」広報、PR ご協力のお願い

平素は大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

さて、弊会ではセメント・コンクリート技術の普及および向上を目的として、建設関係技術者を対象に高松にて標記セミナーを別紙の要領で開催致します。

つきましては、貴社のホームページ・発行出版物等に本セミナーのご案内を掲載していただきたくご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、プログラムの電子データがございます。弊会ホームページの《イベント・募集》→《イベント》→《コンクリートセミナー》(http://www.jcassoc.or.jp/cement/4pdf/ji1c_308.pdf)に掲載しておりますのでご利用下さい。また、リンクフリーですが、その際はご一報いただければ幸甚です。

以上



第308回 コンクリートセミナー

これからの時代に求められるコンクリート技術の展望

主催 一般社団法人セメント協会

後援 (公社) 土木学会四国支部、(一社) 日本建築学会四国支部、(公社) 日本コンクリート工学会四国支部、(公社) 地盤工学会四国支部、(一社) 日本建設業連合会四国支部、(一社) 建設コンサルタンツ協会四国支部、(一社) 香川県建設業協会、全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部、NPO 住宅地盤品質協会

趣旨 これまでに建設された膨大なコンクリート構造物が老朽化し、維持管理に予算を投じることが必要となり、安全・安心・快適な社会の構築に危険信号が点滅するとの指摘があります。また、少子・高齢化が進むもとで、建設技能者の不足に伴う建設方法の転換は喫緊の課題とされ、生産性向上を早急に実現することが業界全体の取り組みとして必須です。本セミナーは、コンクリート技術に関わる5氏を招聘し、未来に向けたコンクリート技術を展望し、課題と提案を示していただきます。

● **日時** 2019年2月7日(木) 9:55~16:30
● **場所** かがわ国際会議場(タワー棟6階)
〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1
● **定員** 200名(定員になり次第締切させていただきます)
● **受講料** 1名当たり10,000円(税込)・テキスト代込み
● **申込先** 受講ご希望の方は、2019年1月28日(月)までに、

- ① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込ください。
- ② 受講料は、「郵便振替」(加入者名): 一般社団法人セメント協会、口座番号: 00100-1-586562へお振込みください。

また、銀行振込希望の方は、受講申込書一番下の銀行振込に○をつけてお申込ください。

①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストを郵送致します。

● **連絡先** 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4
一般社団法人セメント協会 普及部門
TEL: 03-5200-5060 FAX: 03-5200-5062
● **CPD** 土木学会CPD認定プログラム(JSCE 18-1156 5.0単位)
● **CPDS** 全国土木施工管理技士会連合会CPDS認定プログラム(495980 6単位)

● **会場**



○ JP高松駅から徒歩約3分
○ こことん高松築港駅から徒歩約5分

講演

[開会挨拶] (一社)セメント協会 コンクリート普及専門委員会 委員長 朝倉秀明氏 9:55 ~ 10:00

1 **コンクリートの生産性向上と品質確保** 10:00 ~ 11:00
コンクリート分野の生産性がほとんど進んでいないといわれている。生産人口の減少の中で、早急な対応が求められている。設計面、契約面を中心に対応すべき事項と、その方向について紹介する。また合わせて、品質の確保のための方策などを紹介する。
キーワード: 設計、積算、契約、示方書、プレキャスト化、情報化
JR 東日本コンサルタンツ株式会社 技術統括 石橋忠良氏
東日本旅客鉄道株式会社 顧問

2 **コンクリート施工における生産性向上技術** 11:10 ~ 12:10
今後の少子化による人材不足は建設業においても深刻な問題であり、コンクリート施工の生産性向上が急務である。ここでは、それに向けての土木学会の動向や国土省主管の委員会から発刊された「流動性を高めたコンクリートの活用に関するガイドライン」の概要について説明するとともに、生産性向上を目的とした最新のコンクリート施工技術について紹介する。
キーワード: コンクリート施工、流動性、生産性向上技術
鹿島建設株式会社 土木管理本部 土木技術部長 坂田 昇氏

3 **四国におけるインフラの維持管理と新技術の実装への取り組み** 13:10 ~ 14:10
我が国においては、今後技術者の減少が見込まれることから、効率的で効果的なインフラの維持管理が望まれている。本発表では、維持管理に関する新技術の適用性の検討、新技術の地域への実装、技術者教育に関する四国内での取り組みを紹介する。
キーワード: 維持管理、非破壊検査、機械学習、地域実装、技術者教育
国立大学法人香川大学 創造工学部 建築・都市環境コース 准教授 岡崎慎一郎氏

4 **高速道路資産の点検から保全の現状と今後** 14:20 ~ 15:20
高速道路の橋梁は、開通後 30年を経過するものが約5割となり、今後、高度経済成長期の開通の伸びとあいまって、老朽化が深刻化している。このため、構造物取替や大規模修繕を 15年間の特定更新事業として進めている。迫りくる老朽化に向けて構造物の変状把握、長期劣化予測、合理的な補修シナリオ等、点検から診断、補修までの高度化や長寿命構造物への取り組みについて述べる。
キーワード: 高速道路、劣化、点検の高度化、補修シナリオ、長寿命化
西日本高速道路メンテナンス中国株式会社 代表取締役社長 角田直行氏

5 **コンクリート構造物の延命化の課題と展望** 15:30 ~ 16:30
コンクリート構造物の延命化には、早期の劣化進行予測による『予防保全』が重要とされている。損傷が表面化する前にコンクリート構造物の劣化進行を予測するには、健全に見える構造物の健康診断が必要である。如何にすればコンクリート構造物の健康診断が可能であるかを概説する。
キーワード: コンクリート構造物、延命化、点検、診断、予防保全、劣化予測
近未来コンクリート研究会 代表 十河茂幸氏

第308回 コンクリートセミナー受講申込書

● セメント協会普及部門宛 (FAX. 03-5200-5062) にお送りください。

申込日 月 日
勤務先 TEL. ー ー
FAX. ー ー
業 種 ☐官公庁 ☐建設業 ☐コンサルタント ☐生コン ☐コンクリート製品
☐混和剤 ☐学 校 ☐セメント ☐その他()

住 所 〒

受講者(連名可)

● 業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。
● 受講料は 郵便振込・銀行振込 致します。(どちらかに○をつけて下さい。)

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

受講券在中

□□□-□□□□

都道府県 区町市郡

殿

● 勤務先等も必ずご記入ください。